



損保ジャパン

SOMPO 保険の先へ、挑む。

作成日：2020年9月11日

〒960-0102
福島県福島市鎌田字新町7

株式会社ハセプロ 様

THE すまいの ハザードマップ



THE すまいのハザードマップは、公的機関等から入手した各種データおよび損害保険ジャパン株式会社（以下、「当社」といいます。）が保有している保険金支払データ等を用いて、当社が独自に評価・分析・作成した当社オリジナルの総合的ハザードマップサービスです。



損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
<公式ウェブサイト><https://www.sompo-japan.co.jp/>

SOMPOグループの一員です。

お問い合わせ先

株式会社ハセプロ

Tel:024-553-8988

「THE すまいのハザードマップ」 ご利用上の注意

1. データご利用上の注意

- (1) THE すまいのハザードマップ（以下、「本サービス」といいます。）は、公的機関等から入手した各種データおよび損害保険ジャパン株式会社（以下、「当社」といいます。）が保有している保険金支払データ等を用いて、自然災害等のリスク度合について助言を行うサービスです。本サービスで表示している各種データ等については、過去の実績およびそれに基づいた将来予測ですので、各種自然災害等が想定通りに発生すること、およびその被害の程度を確約するものではありません。あくまで可能性の一つであることをあらかじめご了承ください。
- (2) 本サービスは、公的機関等から入手した各種データ、当社保有データおよびEsriとESRIジャパン株式会社※の地図データ等を元に作成しています。各種データは、平成31年4月1日時点で入手可能な最新のものを使用していますが、その後の土地の造成等や自然災害の発生等により、現況が本サービスの内容と一致しない場合があります。
※本サービスにおける地理情報システムは、ESRIジャパン株式会社の協力のもと構築しています。
(ESRIジャパン株式会社HP：<http://www.esri.com/>)
- (3) 本サービスにおいて使用している国土数値情報は、各都道府県の提供資料等に基づいて組成されたデータが含まれているため、都道府県によっては一部データが表示されない場合があります。ハザードマップの情報につきましては、お住まいの都道府県や市区町村のホームページ等で公表されているデータ等もあわせてご確認ください。

2. 著作権、財産権その他の権利

- (1) 本サービスに含まれているコンテンツおよび各種情報、商標、画像、デザイン等（以下、「コンテンツ等」といいます。）に関する著作権、商標権その他の知的財産権・財産権は、当社もしくは当該コンテンツ等を創作した著作者または著作権者等に帰属しています。
- (2) ご利用者さまは、コンテンツ等に関する正当な権利者（当社もしくは著作権、商標権その他の知的財産権・財産権を有する第三者）から利用・使用を許諾されている場合を除き、コンテンツ等の複製、編集、改変、掲載、転載、公衆送信、販売、配布、提供等はできません。
- (3) ESRIジャパン株式会社提供の地図データに関する著作権は以下のとおりです。
Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, ©OpenStreetMap contributors, GIS User Comm.

3. 免責について

- (1) 本サービスにおいて公的機関等から入手している各種データにつきましては、その内容自体についての正確性・妥当性・完全性、その他一切の事項について当社が保証するものではありません。表示情報の最終的な利用および内容の確認は、ご利用者さまが自己の責任において行ってください。ご利用者さまがこれらの情報に関連し損害を被った場合、当社は一切の責任を負わないものとします。
- (2) 当社は、本サービスの全部または一部をご利用者さまへ事前に通知することなく、変更、中断、または終了することがあります。それによりご利用者さまが損害を被った場合でも当社は一切の責任を負わないものとします。

「THE すまいのハザードマップ」で使用している用語の説明

【リスク度合】

各リスク区分におけるリスク度合（高・中・低）は、各リスク区分毎のハザードマップの基礎データを根拠とし、損保ジャパンが独自の基準で定めたものです。

【事故発生率ランキング】

災害区分別※1、市区郡単位の事故発生率ランキング※2です。全国1190の市区郡のうち、お住まいの住所が属する市区郡の事故発生率がどれくらい高いかを、ランキング形式で表示しています。ランキングの順位が上位になるほど、事故発生率が相対的に高いことを示しています。事故発生率は、市区郡毎の損保ジャパンのデータ（平成23年4月から平成31年3月までの保険金支払件数および契約件数）から算出しています。

（出典：損保ジャパンデータ）

- ※1 地震（津波を含みます。）、水災（土砂災害を含みます。）、風災、落雷、雪災の5区分をいいます。
- ※2 保険金支払件数および契約件数が、所定の件数に満たない場合、「データなし」と表示しています。

【1事故あたりの平均支払保険金】

災害区分別※1の1事故あたりの支払保険金※2の平均額（全国平均）です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における平均支払保険金を表示しています。

平均支払保険金は、損保ジャパンのデータ（平成23年4月から平成31年3月までの合計保険金支払件数および合計支払保険金）から算出しています。

（出典：損保ジャパンデータ）

- ※1 地震（津波を含みます。）、水災（土砂災害を含みます。）、風災、落雷、雪災の5区分をいいます。
- ※2 損害保険金のほか臨時費用保険金等の費用保険金を含みます。

【1事故あたりの支払保険金の分布】

災害区分別※1の1事故あたりの支払保険金※2の分布（全国平均）です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における支払保険金の分布を表示しています。






支払保険金の分布については、損保ジャパンのデータ（平成23年4月から平成31年3月までの保険金支払件数および支払保険金）から算出しています。

（出典：損保ジャパンデータ）

- ※1 地震（津波を含みます。）、水災（土砂災害を含みます。）、風災、落雷、雪災の5区分をいいます。
- ※2 損害保険金のほか臨時費用保険金等の費用保険金を含みます。

福島県福島市鎌田字新町7



災害区分	リスク区分	リスク度合
 地震	地震発生	低
	液状化	低
	津波（南海トラフ地震）	低
	津波（首都直下地震）	低
 水災	浸水	低
	降水	中
	土砂災害	低
 風災	台風	高
	竜巻	低
 落雷	落雷	低
	 雪災	積雪
 その他		交通事故

福島県福島市鎌田字新町7



発生確率

リスク高

80%~

60~80%

40~60%

20~40%

10~20%

0~10%

リスク低

リスク度合

低

(地震発生)

お住まいの住所における
震度6弱以上の地震発生確率(今後30年間)

6.8 %

防災科学技術研究所
確率論的地震動予測地図より ※1

事故発生率ランキング

① 72位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

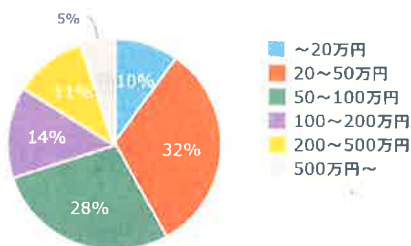
¥ 138.3万円 (全国平均)

⚠️ お住まいの住所は、地震時に著しく危険な密集市街地に **該当していません。** ※2

お住まいの住所における今後30年間の地震発生確率および建物の被害予測 ※3

震度	発生確率	被害予測	
		全壊確率	半壊確率
5強以上	37.0%	0.0%	0.5%
6弱以上	6.8%	3.8%	12.7%
6強以上	0.5%	33.3%	46.9%

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 確率論的地震動予測地図とは、全ての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を地図に示したものです。各断層の長期評価による地震発生確率を求め、今後30年間で個々の地点での揺れが、ある震度を上回る確率の分布を表示しています。

本サービスでは、評価された地震発生確率の最大値を用いる「最大ケース」(基準年:平成30年)を採用しています。(出典:国立研究開発法人防災科学技術研究所)

※2 地震時に著しく危険な密集市街地とは、密集市街地のうち、延焼危険性または避難困難性が特に高く、地震時等において、大規模な火災の可能性、あるいは道路閉塞による地区外への避難経路の喪失の可能性があり、生命・財産の安全性の確保が著しく困難で、重点的な改善が必要な密集市街地をいいます。(出典:国土交通省「地震時等に著しく危険な密集市街地」について)

※3 地震の揺れによる建物への被害予測です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における全壊確率および半壊確率を算出しています。同じ震度でも対象となる建物の状態や地盤の状況により、実際の被害状況は異なります。なお、被害予測における全壊および半壊は、地震保険の損害認定基準とは異なりますのでご注意ください。(出典:損害保険料率算出機構「地震保険研究8「自治体の地震被害想定における被害予測手法の調査」」村尾・山崎(2002))



リスク度合

低

(液状化)

お住まいの住所は
液状化の可能性が

ないと想定される 地域です。

内閣府 南海トラフ巨大地震液状化可能性より ※1

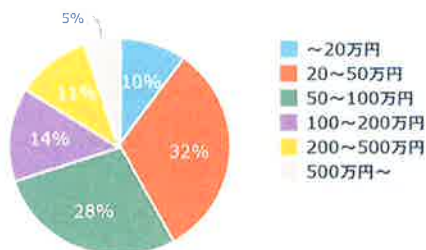
事故発生率ランキング

🏆 **72** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

💰 **138.3** 万円 (全国平均)

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 南海トラフ巨大地震発生時に液状化が発生する可能性を表示しています。PL値（液状化可能性指数）が大きいくほど、液状化のリスクが高いことを表しています。なお、本サービスでは、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）強震断層モデル編—強震断層モデルと震度分布について—」に記載されている「震度の最大値の分布図」を採用しています。（出典：内閣府 防災情報のページ）



リスク度合

低

(南海トラフ地震)

お住まいの住所における
想定浸水深 (南海トラフ地震)

浸水想定なし

内閣府 南海トラフ巨大地震時の
想定浸水深より ※1



浸水なし

事故発生率ランキング

72 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

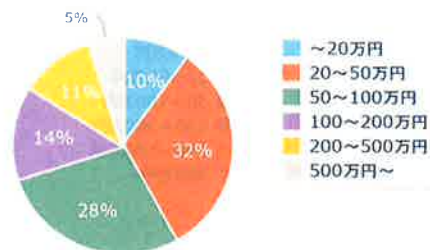
¥138.3 万円 (全国平均)

被害予測

被害想定なし

東北大学災害科学国際研究所 津波工学研究報告より ※2

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 南海トラフ巨大地震発生時に津波が発生した場合の想定浸水深です。なお、本サービスでは、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)津波断層モデル編」において基本的な検討ケースとして挙げられているケース①~⑥の津波断層モデルを採用しています。(出典:内閣府 防災情報のページ)

※2 津波による建物への被害想定です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における被害想定を表示しています。なお、本サービスでは、浸水深および建物構造を用いる手法で評価していますので、津波の速度(水圧)や継続時間などの違い、対象となる建物の状態や地盤の状況により、実際の被害状況は異なります。また、被害想定における全壊および半壊は、地震保険の損害認定基準とは異なりますのでご注意ください。(出典:東北大学災害科学国際研究所 災害リスク研究部門 津波工学研究室 津波工学研究報告 第9号「6.津波強度と被害」(首藤, 1992)より)



リスク度合

低

(首都直下地震)

お住まいの住所における
想定浸水深 (首都直下地震)

浸水想定なし

内閣府 首都直下地震時の
想定浸水深より ※1



浸水なし

事故発生率ランキング

① **72** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

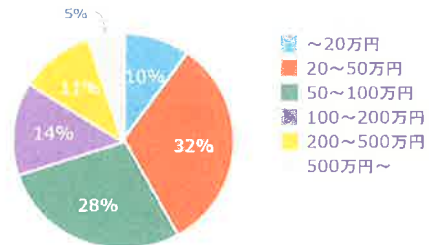
② **138.3** 万円 (全国平均)

被害予測

被害想定なし

東北大学災害科学国際研究所 津波工学研究報告より ※2

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 首都直下地震発生時に津波が発生した場合の想定浸水深です。なお、本サービスでは、内閣府「首都直下地震モデル検討会において検討された震度分布・浸水域等に係るデータ提供について」に記載されている「02_元禄関東地震」の津波断層モデルを採用しています。(出典：内閣府 防災情報のページ)

※2 津波による建物への被害想定です。お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における被害想定を表示しています。なお、本サービスでは、浸水深および建物構造を用いる手法で評価していますので、津波の速度(水圧)や継続時間などの違い、対象となる建物の状態や地盤の状況により、実際の被害状況は異なります。また、被害想定における全壊および半壊は、地震保険の損害認定基準とは異なりますのでご注意ください。(出典：東北大学災害科学国際研究所 災害リスク研究部門 津波工学研究室 津波工学研究報告 第9号「6.津波強度と被害」(首藤, 1992)より)



リスク度合

低

(浸水)

お住まいの住所における
洪水時の想定浸水深

浸水想定なし

国土省 国土数値情報
浸水想定区域より ※1



浸水なし

事故発生率ランキング

🏆 **457** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

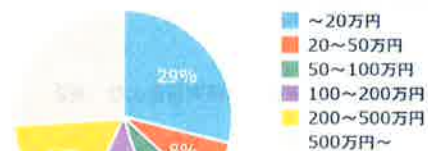
💰 **434.7** 万円 (全国平均)

被害予測

被害想定なし

国土省河川局「治水経済調査マニュアル(案)」より ※2

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 河川の氾濫等による洪水時の想定浸水深です。本サービスでは、浸水深区分を「5段階」(0~0.5m未満/~1.0m未満/~2.0m未満/~5.0m未満/5.0m以上)で表示しています。(出典:国土交通省 国土数値情報 浸水想定区域データ)
 ※2 水災による建物への被害想定です。浸水深別の被害率想定から、被害区分を想定しています。本サービスでは、お住まいの住所における地盤勾配は0.001未満と仮定して算出しています。なお、本サービスでは、浸水深を用いる手法で評価していますので、対象となる建物の状態や地盤の状況等により、実際の被害状況は異なります。(出典:国土交通省 河川局 治水経済調査マニュアル(案) 「浸水深別被害率」より)

福島県福島市鎌田字新町7



お住まいの住所の標高 **59** m

降水量
リスク高
391mm+
321~390mm
261~320mm
211~260mm
181~210mm
0~180mm
リスク低

リスク度合

中

(降水)

お住まいの住所の
最大降水量(30年に1回の大雨の場合)

259 mm/24時間

気象庁 確率降水量全国図より ※1

事故発生率ランキング

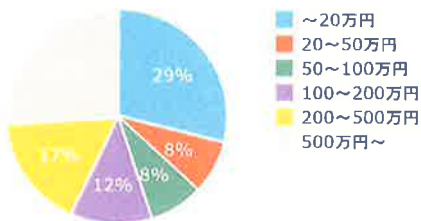
① **457** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

② **434.7** 万円 (全国平均)

再現期間	確率降水量 (mm/24時間)
30年	259 mm
50年	287 mm

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 お住まいの住所における確率降水量を表示しています。確率降水量とは、将来、一定期間内(再現期間といいます。)に起こると考えられる降水量の最大値のことをいいます。例えば、再現期間30年の確率降水量が300mmという地点では、300mm以上の大雨が平均すると30年に1回の確率で起こりうることを意味します。確率降水量は、主に、稀にしか起こらないような極端な大雨の強度や頻度を示す指標として使用されます。本サービスでは、気象庁が公表している再現期間30年の24時間降水量(mm)の分布図を元に、地点間補正を行い、独自のハザードマップを作成しています。(出典:気象庁 異常気象リスクマップ 「30年に1回の大雨は何mmくらい?」より)



リスク度合

低

(土砂災害)

住まいの住所は
土砂災害危険箇所に

該当しません

国土省 国土数値情報「土砂災害危険箇所」より
※1

事故発生率ランキング

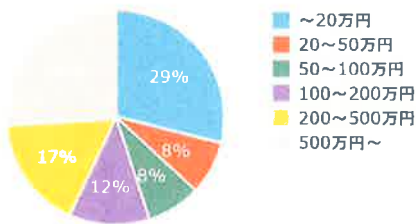
① **457** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

② **434.7** 万円 (全国平均)

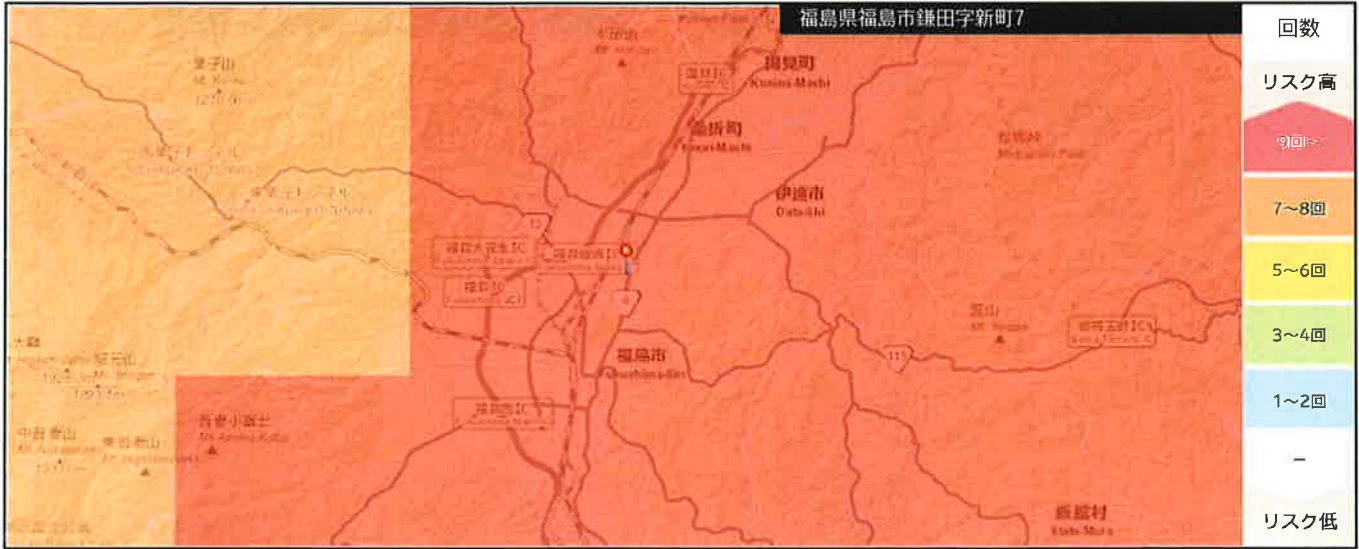
区分	判定
土石流危険渓流・区域	非該当
地すべり危険箇所・区域	非該当
急傾斜地崩壊危険箇所・区域	非該当

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 土砂災害危険箇所とは、国土交通省（旧建設省）の調査要領・点検要領により都道府県が実施した調査で判明した、土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊が発生するおそれのある箇所をいいます（それぞれ、「土石流危険渓流」、「地すべり危険箇所」、「急傾斜地崩壊危険箇所」といいます。）。本サービスでは、各都道府県が指定した土砂災害危険箇所およびそれらの危険区域を集約した国土数値情報のデータベースを元にハザードマップを作成しています。（出典：国土交通省 国土数値情報 土砂災害危険箇所データ）

福島県福島市鎌田字新町7



リスク度合

高

(台風)

お住まいの地域における
台風上陸回数 (過去10年間実績)

9 回 (年平均 **0.9** 回)

気象庁統計データより ※1

事故発生率ランキング

1107 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

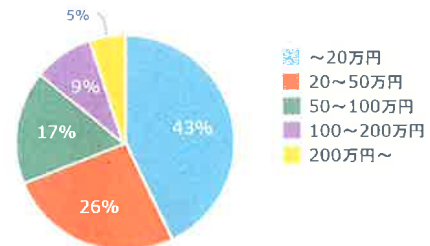
57.3 万円 (全国平均)

! 福島県福島市 では、過去5年間で合計 **96** 件、風災事故により保険金をお支払いしました。 ※2

福島県福島市 における
過去5年間の風災事故での保険金支払件数 ※2



1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 過去10年間 (平成21年1月から平成30年12月まで) で、台風がお住まいの地域を通過した回数を表示しています。(出典: 気象庁・統計データ)
 ※2 市区郡別の風災事故での保険金支払件数データです。お住まいの住所が属する市区郡における過去5年間 (平成26年4月から平成31年3月まで) の損保ジャパンでの合計保険金支払件数を表示しています。(出典: 損保ジャパンデータ)



リスク度合

低

(竜巻)

お住まいの地域における
竜巻発生回数 (過去10年間実績)

0 回 (年平均 **0** 回)

国土省 国土数値情報「竜巻等の突風データ」より
※1

事故発生率ランキング

① **1107** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

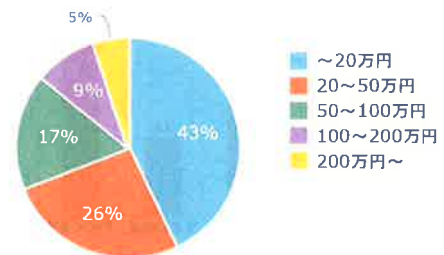
② **57.3** 万円 (全国平均)

⚠️ 福島県福島市 では、過去5年間で合計 **96** 件、風災事故により保険金をお支払いしました。 ※2

福島県福島市 における
過去5年間の風災事故での保険金支払件数 ※2



1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 お住まいの地域で、過去10年間(平成13年1月から平成22年12月まで)で、竜巻が発生した回数を表示しています。本サービスでは、過去の竜巻発生回数を10km格子単位で表現することで、竜巻リスクを可視化した独自のハザードマップを作成しています。(出典:国土交通省 国土数値情報 竜巻等の突風データ より)
 ※2 市区郡別の風災事故での保険金支払件数データです。お住まいの住所が属する市区郡における過去5年間(平成26年4月から平成31年3月まで)の損保ジャパンでの合計保険金支払件数を表示しています。(出典:損保ジャパンデータ)



リスク度合

低

(落雷)

お住まいの地域における
落雷発生回数 (平成30年実績)

19回

㈱フランクリン・ジャパン 観測データより ※1

事故発生率ランキング

① 933位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

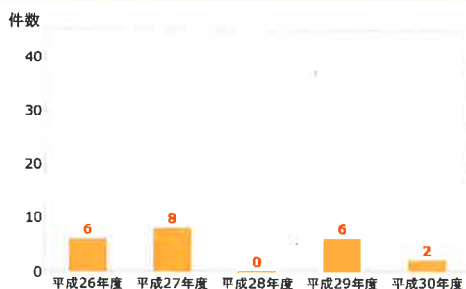
② 25.6万円 (全国平均)



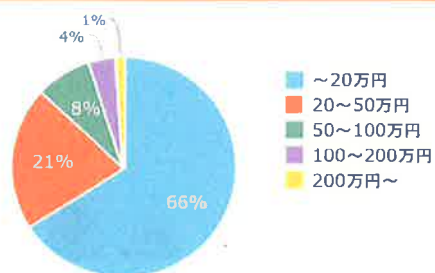
福島県福島市 では、過去5年間で合計 22 件、落雷事故により保険金をお支払いしました。 ※2

福島県福島市 における

過去5年間の落雷事故での保険金支払件数 ※2



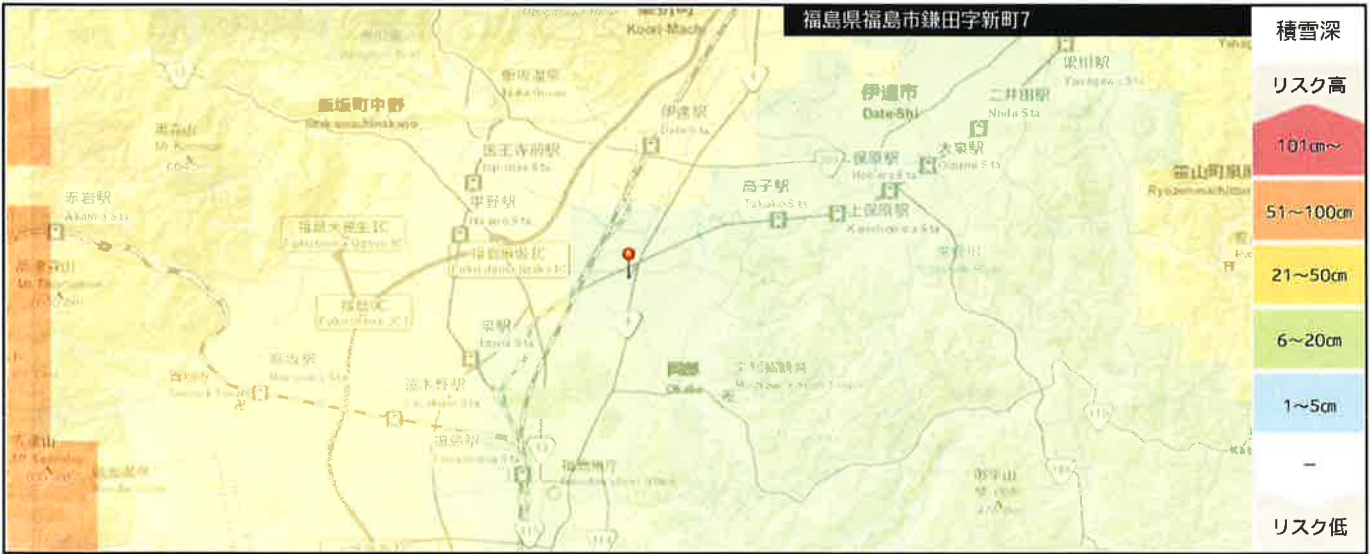
1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 平成30年1月から12月までの1年間のお住まいの地域における落雷発生回数を表示しています。具体的には、日本で唯一、全国雷観測ネットワークを有する株式会社フランクリン・ジャパンの観測データを採用し、落雷発生回数を集計しています。本サービスでは、過去の落雷発生回数を5km格子単位で表現することで、落雷リスクを可視化する独自のハザードマップを作成しています。(出典：株式会社フランクリン・ジャパン 観測データより)

※2 市区郡別の落雷事故での保険金支払件数データです。お住まいの住所が属する市区郡における過去5年間(平成26年4月から平成31年3月まで)の損保ジャパンでの合計保険金支払件数を表示しています。(出典：損保ジャパンデータ)

福島県福島市鎌田字新町7



リスク度合

中

(積雪)

お住まいの地域における
最深積雪 (過去30年間の平均値)

19 cm

気象庁 統計データより ※1

事故発生率ランキング

① **328** 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における福島県福島市の
事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金

② **55.1** 万円 (全国平均)

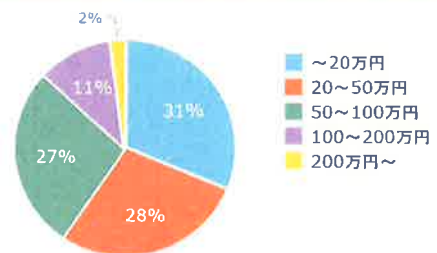
⚠️ 福島県福島市 では、過去5年間で合計 **382** 件、雪災事故により保険金をお支払いしました。 ※2

福島県福島市 における

過去5年間の雪災事故での保険金支払件数 ※2

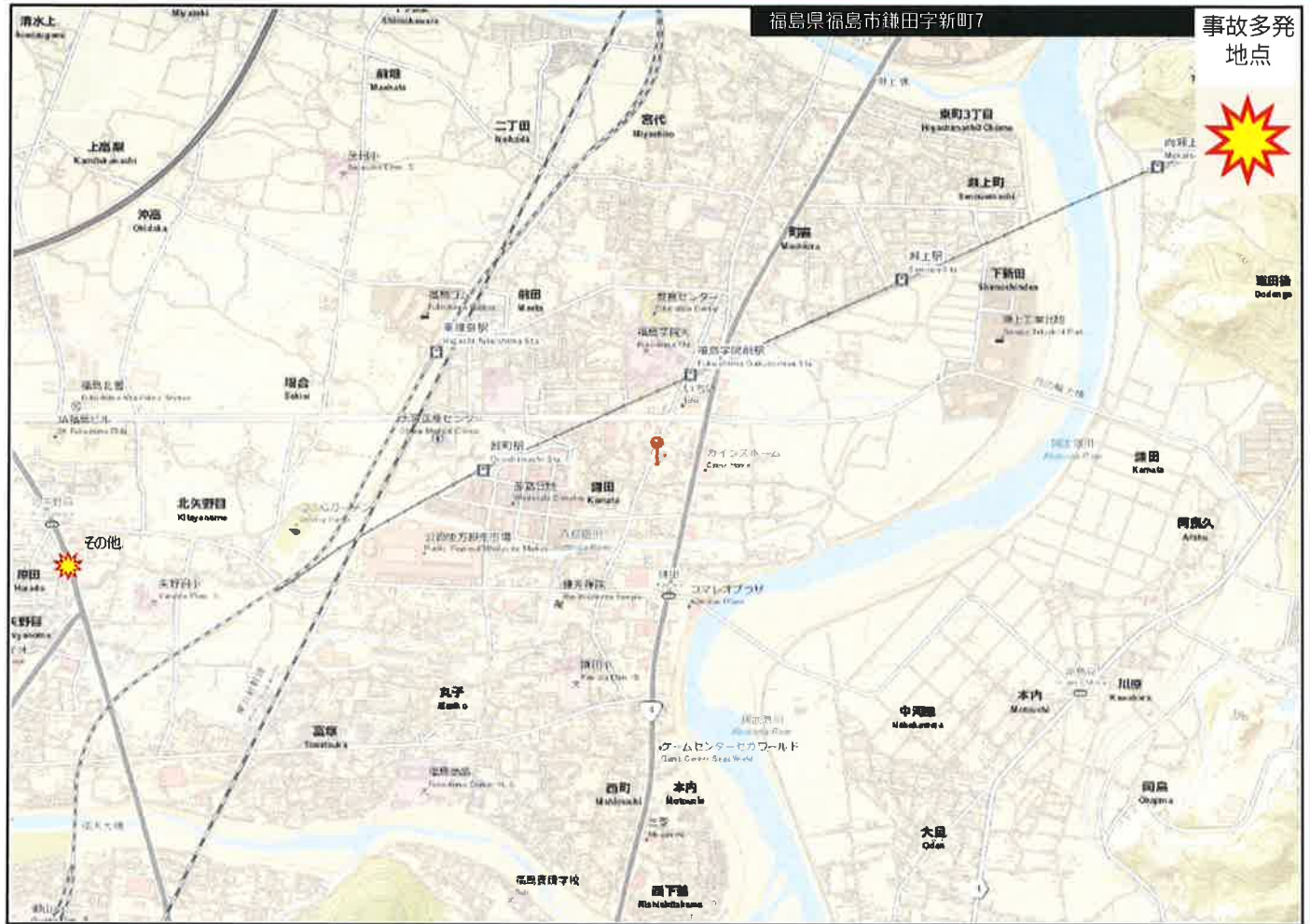


1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)



※1 お住まいの地域のも最深積雪 (その年で、最も積雪が深かった時の積雪深 (cm)) の平均値 (昭和56年から平成22年までの30年間の平均値) を表示しています。本サービスでは、過去の積雪データを1km格子単位で表現することで、雪災リスクを可視化した独自のハザードマップを作成しています (観測点の年平均値がすべて0cmである沖縄・奄美と大島を除く伊豆諸島・小笠原諸島および観測データが十分ではない九州、山陽、四国、近畿中南部につきましてはハザードマップ作成対象外としています。)。 (出典: 気象庁 (一般財団法人 気象業務支援センター) 統計データより)

※2 市区郡別の雪災事故での保険金支払件数データです。お住まいの住所が属する市区郡における過去5年間 (平成26年4月から平成31年3月まで) の損保ジャパンでの合計保険金支払件数を表示しています。 (出典: 損保ジャパンデータ)



リスク度合

低

(交通事故)






お住まいの住所から
半径3km以内にある交通事故多発地点の数

1箇所

損保ジャパンデータより ※1

※1 お住まいの住所から半径3km以内の交通事故多発地点数を表示しています。交通事故多発地点は、平成22年4月から平成28年2月までの約6年間の損保ジャパンのデータ（自動車保険事故データ）と公益財団法人交通事故総合分析センターの交通事故多発箇所データを用い、損保ジャパンが独自に算出した地点であり、全国で約2,000箇所の登録があります。また、右折、左折、対向車、追突、人身事故、出会頭、その他の計7種類の事故の中で、最も多い事故類型を地図上に表示しています。（出典：損保ジャパンデータ）



周辺施設	名称（お住まいの住所からの距離）	所在地
 最寄の避難施設	福島学院大学（447 m）	福島県福島市宮代字乳児池1-1
 2番目に近い避難施設	北信中学校（670 m）	福島県福島市鎌田字御飯小屋20
 最寄の消防署	飯坂消防署東出張所（160 m）	福島市鎌田字一里塚7-3
 最寄の警察署	福島北警察署瀬上交番（945 m）	福島市瀬上町字本町24
 最寄の病院	（一財）大原綜合病院附属大原医療センター（884 m）	福島県福島市鎌田字中江33

国交省 国土数値情報「避難施設」他より ※1

※1 お住まいの住所の周辺施設（避難施設、消防署、警察署、病院）を表示しています。本サービスで表示する避難施設は、災害対策基本法に基づき都道府県および市町村により作成された地域防災計画に示される避難施設（「避難場所」および「避難所」を含み、「福祉避難地」を除きます。）です。また、本サービスで表示する病院は、休止中の施設や企業内の施設等も含まれます。本サービスでは、お住まいの住所から半径3km以内にある最寄および2番目に近い避難施設情報（名称・所在地）と、お住まいの住所から半径10km以内にある最寄の施設情報（名称・所在地）を表示しています。上記の範囲内に対象施設がない場合、施設情報（名称・所在地）は表示されませんので、ご注意ください。また、周辺施設の情報は下記データ作成日に更新されたものです。近年開設（もしくは閉鎖）された施設が正しく地図上に反映されていないことがありますので、ご注意ください。特に、避難施設については、災害時に避難施設を利用する際は、各地方公共団体が公開している最新の情報も確認してください。避難施設：平成24年度、消防署：平成24年10月、警察署：平成24年10月、病院：平成26年9月